

白浜レスキューネットワーク通信 8月号

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 3137-8

TEL&FAX0739-43-8981

<http://srnw.or.jp>e-mail yabiumi@gmail.com

理事長 藤藪庸一

郵便振替 00920-6-85589 口座名：白浜レスキューネットワーク
 紀陽銀行白浜支店普通預金 589389 口座名：NPO特定非営利活動法人
 白浜レスキューネットワーク

自殺者救済活動

8月1日～8月31日

電話件数 230件

メール相談 4人

保護件数 2件(男性2名)

帰宅件数 1件(男性1名)

○5日、二人の男性を保護。二人共、出てきたアパートがあり、残って共同生活をするか、帰ってやり直すか、じっくり考えてメリットとデメリットを書き出してもらって、一人は残ることになり、一人は帰ることになった。

生活自立支援活動

8月1日～8月31日

滞在者数 16人(男性13人、女性3人)

○コンビニとまちなかキッチンで働く20代女性は、1対1で会話する時や仕事場での態度は、気持ち良い態度をとれるようになってきたが、何もしていない時、だれからも注目されていない時の態度は、かったるそうで、重たい雰囲気を出していることが多い。この態度と雰囲気を直させていこうと思う。

○デイサービスに週3回行き、ヘルパーがほぼ毎日入っている80歳の男性は、トレーニングパンツをはくことを勧めているが、プライドが邪魔をし、はかずに寝て失敗を繰り返すことが増えた。これでは、後始末を助けてくれる共同生活者たちに迷惑をかけすぎるので、施設に移るしかないことを伝えた。それ以後、トレーニングパンツをはいている。

○コンビニとまちなかキッチンで働いている30代男性は、外へ働きに出たいという希望を持ち始めた。清算しないといけない過去の問題が

いくつも明るみに出てきて居づらくなった可能性もあるが、僕との関係は良好だ。

○糖尿病を患っている男性は、お盆期間中、まちなかキッチンが休みの間、大阪周辺に数日遊びに出た。また19日から始まったSEEKキャンペーンに、仕事が終わってから、釣り指導者として参加してくれた。

○豆腐屋とまちなかキッチンと新聞夕刊配達と3つ掛け持ちしている男性は、働けなくなるまで、まちなかキッチンで働かせてもらえたらという願いを持っている。また、他の二つの仕事も慣れてきて、働ける間は、この三つの仕事を続けたいと思っている。

○まちなかキッチンとホテルでの仕事を両立させたいと思っていた男性は、お盆期間中、大阪へ出て気分転換をしてきた。弟夫婦が大阪にいたので連絡を取り合い、休みの日には会っている。両親を早くに亡くしているので、弟はかけがえのない存在となっている。

○言葉に気を付けている男性は、お盆期間中に、久しぶりに実家に帰った。両親とも今後のことについて話し合い、もうしばらく訓練を受けることを了承してもらって帰ってきた。

○昨年4月から共同生活に加わっている男性は、お盆期間中に就職活動を行い、兄夫婦と今後のことについて話し合いを持つ予定だったが、うまくいかなかったようだ。

○2月から共同生活に加わった男性は、お盆期間中に、4月に自立した男性のアパートに行っていたようだ。9月、もしくは10月から一緒に暮らせないかと相談を持ち掛けたようだ。9月に入ってすぐ、相談を持ち掛けられた男性から連絡があり分かった。

○まちなかキッチン総菜部門での仕事を始め

た女性は、料理を覚えようと一生懸命頑張っている。

○他のNPOから移ってきた男性は、障害年金がもらえる目処が付き、9月末にグループホームに移れる可能性が出てきた。

○娘との関係で悩む女性は、月末で一度家に戻るようになった。持ち家が二軒あり、娘と一緒に住むのではなく、別のもう一軒に住む形をとる。月一回は礼拝に来たいと言っていたので、関係が続くことを願っている。

○7月初めから共同生活に加わっている男性は、SEEK キャンプで裏方としてよく働いてくれた。とにかくよく働くが、自分のこだわりが強く、言われたことを言われたとおりにすることが難しいときがあった。報連相を教えていきたい。

○8月5日に保護した一人の男性は、SEEK キャンプに裏方として参加。子どもたちとの関りは嫌いではなさそうだった。ただ、自分から仕事を見つけて動くタイプではない。名前を呼ばれて頼まれない限り、動かないように見受けられた。改善が必要だ。

○20代の男性は、アパートの契約書をもってきた。契約してお盆期間中に引っ越すかと思っただが、あた契約できていなかった。

○5月から滞在している男性は、腰の痛みと足のしびれが出て、病院での検査が始まった。

自殺予防活動

・相談電話

7日、14日、21日、28日に行なった。今月も1人の相談員が休まず電話相談にあたった。

・コペルくんサマースペシャル

8月9日までの日程で、自由研究、読書感想文、作文、工作、異文化体験と充実した毎日を過ごした。来年は、夏休みの後半、もう一週間、総仕上げ的な毎日を過ごすと、さらに充実したものになると感じた。

今年は、8月の後半2週間をキャンプで使ったので、例年より2週間短かった。

・白浜SEEKキャンプ開催



キャンプでは、1、時間を守る。2、整理整頓をする。3、仲良くする。を目標に掲げ、楽しい企画を展開した。連日雨が降ったが、外での企画の時は、すべて雨が上がり、やりたかった企画は、全部行うことができた。

- ・カヌーで川を下って海まで行く。
- ・沢登りをする。
- ・川でダムを造る。
- ・災害鍋体験。
- ・海水浴を飽きるまでする。
- ・川釣り、海釣りですくった魚を食べる。
- ・ドラム缶でお風呂を作って入る。
- ・50メートルを超える長い流しそうめんをする。
- ・キャンプファイヤーをする。
- ・体育館で心置きなくスポーツレクリエーションを楽しむ。

NHK和歌山の取材が入り、8月28日18時30分からのニュース番組で、キャンプの様子や理事長へのインタビューが取り上げられた。

今後も、春と夏の年回のペースで、同様のキャンプを開催していこうと考えている。



* 椿温泉しらすぎ様でお風呂を貸して頂いた

・本の出版とドキュメンタリー映画

19日、韓国の映画祭でドキュメンタリー映画が上映された。テレビでも放送されたようだ。



* 韓国の友人提供